

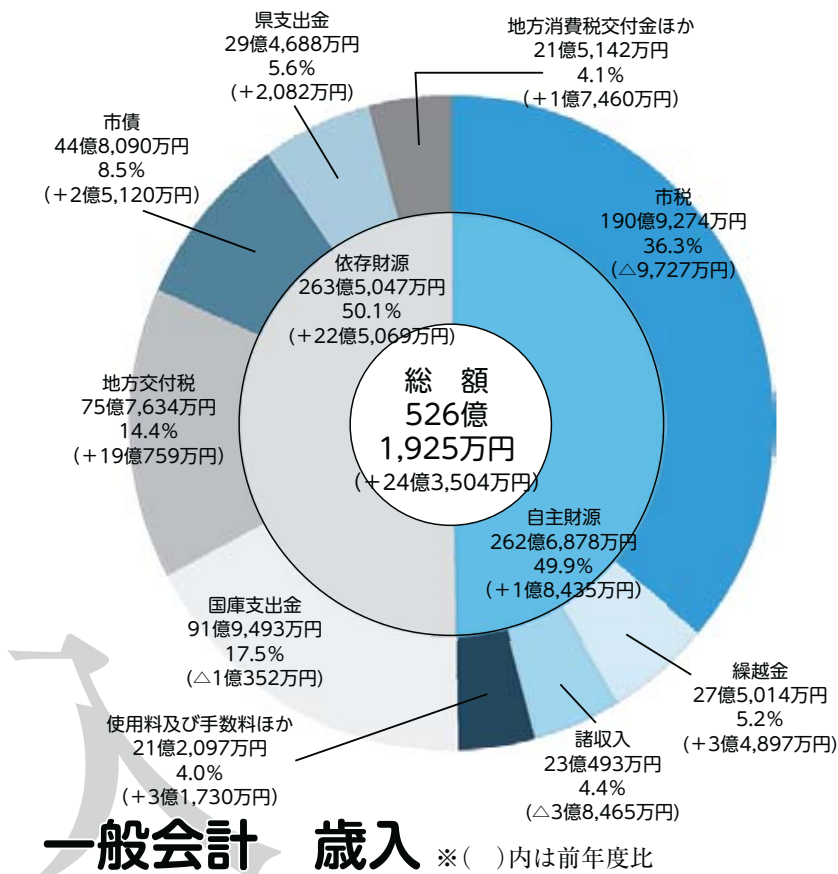
平成26年度 決算

平成26年度の決算がまとまりましたのでお知らせします。

前年度と比べ、歳入では、地方交付税(放射能対策事業分)が増加しました。歳出では、民生費(福祉)、教育費、総務費(積立金分)が増加しました。

財政健全化判断指標から判断すると、本市の財政は引き続き健全な状態です。

問い合わせ **本財政課**
☎0287(62)7118

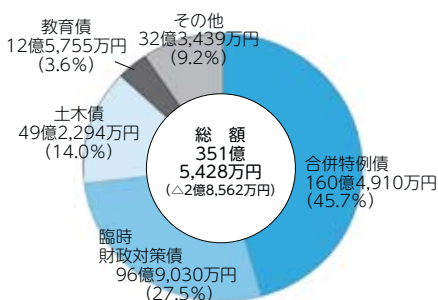


一般会計 歳入 ※ () 内は前年度比

自主財源(市税など市が自ら集めるお金)	依存財源(国、県などから交付されるお金)
- 市税…市税や固定資産税、軽自動車税など皆さんが納めた税金 - 繰越金…前年度の決算上、余ったお金 - 諸収入…学校給食費など他の科目に含まれないお金 - 使用料及び手数料…市の施設を利用したり、サービスの提供を受けたときに支払うお金	- 国庫支出金…福祉援助や道路整備のために国から交付されるお金 - 地方交付税…所得税、法人税、酒税など国税として徴収された中から市の財政状況に応じて交付されるお金 - 市債…道路や施設を整備するために、国や銀行から借入れるお金 - 県支出金…福祉援助や道路整備のために県から交付されるお金 - 地方消費税交付金…消費税(国税)と一緒に徴収された地方消費税(県税)のうち、市町村に交付されるお金

市債の状況 (平成26年度末 一般会計)

市が借りているお金の返済残高



●平成26年度の借り入れ額

平成26年度に借入れたお金は、44億8,090万円です。内訳では合併特例債が最も多く、22億8,920万円です。主な借入目的は次のとおりです。

- 小・中学校耐震改修事業…10億2,350万円
- 認可保育園建設事業…2億8,050万円
- 消防本部建設事業…2億5,390万円

●平成26年度の返済額

平成26年度に返済したお金は、元金(借入れたお金)47億6,653万円、利子4億309万円、合計51億6,962万円です。

元利償還金のうち41億6,425万円は地方交付税に算入されています。

●市民1人当たりの市債残高…29万7,034円

基金の状況

「基金」とは家庭における預貯金に相当するものです。平成26年度末の基金残高は166億8,958万円です。平成25年度末から19億7,599万円の増となっています。主な基金の残高は次のとおりです。

●一般会計

- 財政調整基金(年度間の財源調整を行うもの)…57億8,594万円
- 減債基金(借入金の返済に備えるためのもの)…16億6,251万円
- その他の基金(特定の事業を実施するためのものなど)…69億2,810万円

●特別会計

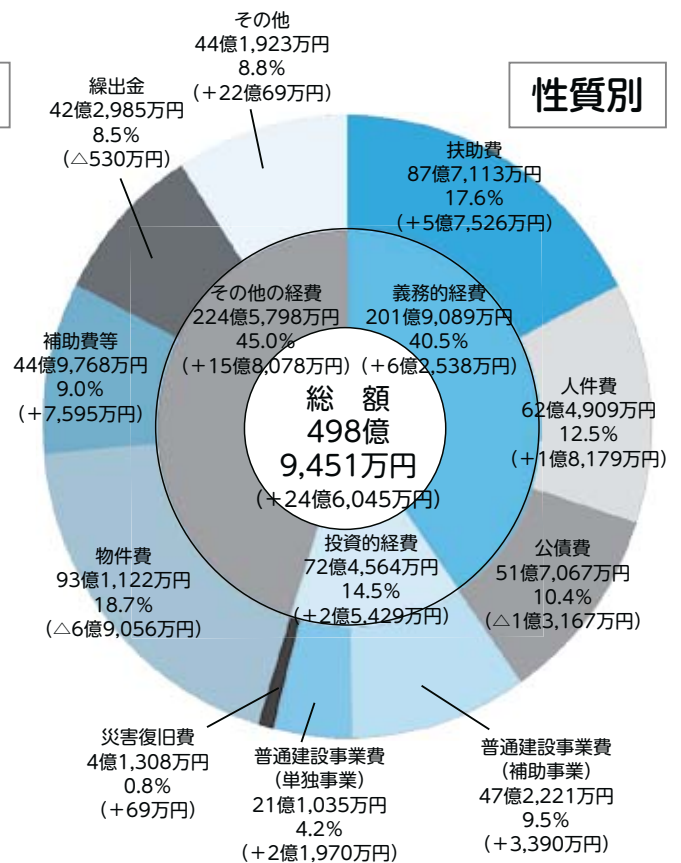
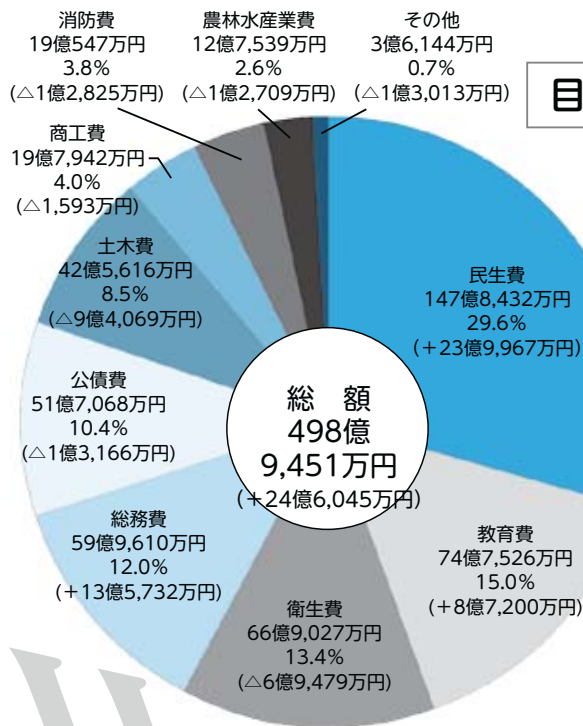
- 国民健康保険、介護保険などの基金…23億1,303万円

●市民1人当たりの基金残高

…14万1,018円

財産状況

公有財産	土地	12,225,170㎡
	建物	401,311㎡
	山林など	6,436,255㎡
	無体財産権(商標権)	1件
	有価証券	1,680万円
基金	出資による権利	7億3,034万円
	基金	166億8,958万円



一般会計 歳出 ※ ()内は前年度比

義務的経費(支出が義務付けられ、任意に削減できない経費)

- ・扶助費…子どもの医療費助成や生活保護などの援助のための経費
- ・人件費…市議会議員の報酬や職員の給料など
- ・公債費…市が借りているお金を返済するための経費

投資的経費(道路や学校の整備など将来に残るものための経費)

- ・普通建設事業費…道路、学校などの整備のための経費
- ・災害復旧費…災害により被災した施設を復旧するための経費

その他の経費(義務的経費と投資的経費以外の経費)

- ・物件費…消耗品、光熱水費、賃借料、委託料など
- ・補助費等…各種団体などへの負担金や補助金など
- ・繰出金…特別会計へ支出するための経費
- ・その他…維持補修費、積立金、投資及び出資金、貸付金の合計

■市民1人当たりの平成26年度歳入歳出決算額

住民基本台帳人口：118,351人(平成27年3月31日現在)

歳入	44万4,603円
歳出	42万1,581円



●市民1人当たりの歳出42万1,581円を目的別に分類すると…

民生費 124,919 円		教育費 63,162 円		衛生費 56,529 円		総務費 50,664 円	
子どもや高齢者・障害者などの福祉のための経費		小・中学校の整備や運営など、教育や文化を盛んにするための経費		ごみ処理や市民の健康増進を図るための経費		税務事務や市役所運営、防災などのための経費	
公債費 43,690 円		土木費 35,962 円		商工費 16,725 円		消防費 16,100 円	
市が借りているお金を返済するための経費		道路や公園などの整備や管理するための経費		商工業や観光を盛んにするための経費		消防や救急などのための経費	
農林水産業費 10,776 円		議会費 2,600 円		労働費 390 円		災害復旧費 64 円	
農林業や畜産業を盛んにするための経費		議員報酬など、議会を運営するための経費		雇用創出事業や勤労青少年ホームの運営などのための経費		災害により被災した施設を復旧するための経費	

■特別会計の決算状況

会計名	歳 入			歳 出		
	決算額	対前年度増減額	前年度比	決算額	対前年度増減額	前年度比
国民健康保険特別会計	143億6,054万円	+3億8,941万円	102.8%	132億9,264万円	+2億7,641万円	102.1%
後期高齢者医療特別会計	9億 196万円	+1,961万円	102.2%	8億9,312万円	+1,944万円	102.2%
介護保険特別会計	68億 86万円	+3億3,734万円	105.2%	65億7,846万円	+2億5,821万円	104.1%
下水道事業特別会計	31億1,076万円	△4億2,540万円	88.0%	30億7,876万円	△4億1,066万円	88.2%
農業集落排水事業特別会計	1億 379万円	△1,631万円	86.4%	9,979万円	△1,787万円	84.8%
温泉事業特別会計	6,077万円	△1,146万円	84.1%	4,447万円	△1,667万円	72.7%
墓地事業特別会計	500万円	△64万円	88.7%	370万円	+49万円	115.3%

■公営水道事業の決算状況

区分	収 入			支 出		
	決算額	対前年度増減額	前年度比	決算額	対前年度増減額	前年度比
収益的収支	31億5,675万円	+6億3,608万円	125.2%	23億6,264万円	+4,801万円	102.1%
資本的収支	4億9,105万円	△3億8,610万円	56.0%	18億3,357万円	+2,248万円	101.2%

※収益的収支…1年度の事業活動に関する水道料金を主体とした収入と、材料費や電気料、職員の給与などの支出
 ※資本的収支…将来の維持管理に必要な借入金などの収入と、水道管敷設などの建設改良費や借入金を返済するための支出

那須塩原市の財政状況は？

■財政の健全性に関する5つの指標

①実質赤字比率

一般会計等（一般会計と墓地事業特別会計）を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合で、赤字決算の場合に該当し、赤字の程度を表します。

H25	H26
—	—

②連結実質赤字比率

一般会計等に加えて特別会計や一部事務組合（消防組合など）など、関連する全ての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合です。

H25	H26
—	—

③実質公債費比率

一般会計等が負担する公債費や公債費に準じるものなど（特別会計や一部事務組合の借金返済額）の標準財政規模に対する割合です。

H25	H26
9.0	7.0

④将来負担比率

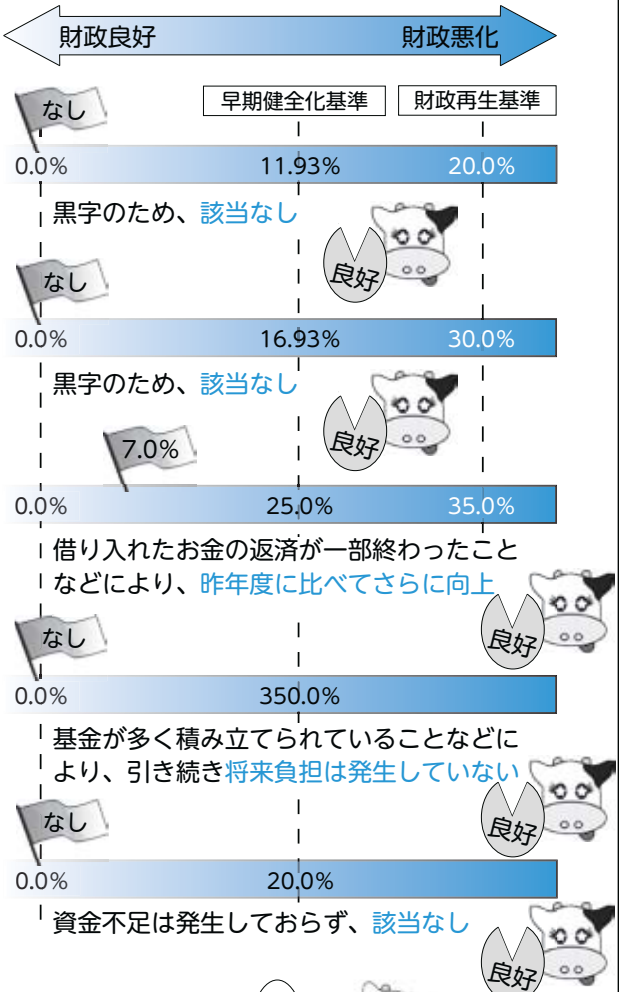
公社や第三セクターなどを加えた連結ベースで一般会計等が将来負担する可能性のある実質的な負債額の標準財政規模に対する割合です。

H25	H26
—	—

⑤資金不足比率

各公営企業会計の資金不足額の、事業規模に対する割合です。

H25	H26
—	—



平成26年度は、前年度同様すべての指標で各基準を大きく下回っており、本市の財政状況は「健全である」と判断できます。